

入院時血圧 80 mmHg/触, 心電図: 心房細動, HR 150 /分, 2 枝ブロック, 心エコー図: 左室壁運動著明低下, カテコラミン投与開始. 第 4 病日 DIC 合併. 第 5 病日 IABP, 第 6 病日 PCPS を開始. 第 5 病日まで GOT, GPT とも 2000 IU/L 以下, HPT 60~70%前後であったが, 第 6 病日急速に悪化, GOT 16290, GPT 27381 IU/L まで上昇, HPT 35%に低下. TB は, 2.2 → 7.0 mg/dl となった. 血漿交換にて改善. 左心機能は第 7 病日 EF 15%から第11病日33%まで改善. 第14病日 P CPS, 第15病日 IABP 離脱, 第52病日軽快退院.

【結語】①劇症型急性心筋炎症例に対し 9 日間の PCPS 補助にて救命に成功した. ②著明な肝障害はショックによるものと考えられた.

5) 高度脳動脈病変を有する患者に心拍動下 CABG と catheter intervention を施行した 1 症例

目黒	昌	山岸	敏治	(新潟こばり病院)
斉藤	憲	丸山	行夫	(心臓血管外科)
宮北	靖	大島	満	(同)
大塚	英明			(循環器内科)
大関	一			(新潟大学)
				(第二外科)
江口	昭治			(新潟心臓血管医)
				(学財団)

【症例】70才男性. 【既往歴】平成 5 年12月 TIA (左片麻痺). 【現病歴】本年 4 月不安定狭心症の診断にて当院循環器内科で CAG を施行. LMT+3 枝病変を指摘され準緊急手術の適応として心臓血管外科に紹介.

【経過】術前の MRA で右中大脳動脈高度狭窄と左椎骨動脈の閉塞を認めた. さらに術中触診にて上行大動脈壁の肥厚が確認された. 以上の所見より通常の大動脈遮断・心停止は危険と判断し, 上行大動脈送血下に体外循環を施行しつつ, 心拍動下に in situ 動脈グラフトによる 2 枝バイパス (LITA-LAD, RGEA-4 PD) を施行した. 術後の血行動態は良好で脳合併症もみられなかった. 術後24病日に CAG を施行し, バイパスグラフトの良好な開存を確認した後, LCX および LMT の病変に対して Stent 留置術を施行した. 特変なく経過し退院した.

【結語】高度脳動脈病変を有する LMT+3 枝病変症例に心拍動下 CABG と catheter intervention を施行し良好な結果を得た.

II. テーマ演題

「高齢者心疾患患者の治療」

1) 高齢者の急性心筋梗塞の治療成績とその問題点について

宮島 静一・奥村 弘史 (燕労災病院)
小山 仙 (循環器内科)

1995 年10月から 1998 年 6 月まで当科に入院した急性心筋梗塞患者75例中, Golden time に来院した40例を対象にした. PTCA を行ったのは30例 (A 群), 行わなかった者 (B 群) は10例であった. PTCA しなかった理由は症状消失し造影遅延なし 6 例, 閉塞性動脈硬化症ないし大動脈蛇行 3 例, 重大合併症と寝たきり 1 例であった. 75歳以上の高齢者は A 群で 5/30例, B 群で 7/10例いた. A 群30例は direct PTCA を行い再灌流率は96%, 院内死亡 0 であった. そのうち高齢者 5 例は全員成功例で, ショック合併が 4 例で IABP を 3 例に要した. B 群10例は保存的治療を行った. 高齢者 7 例ではショック合併 3 例, 心不全合併 3 例で, IABP を 1 例, レスピレータを 3 例に要し, 院内死亡は 5 例 (71%) であった.

高齢者の急性心筋梗塞の特徴として, 多枝病変/重症例が多いことと PTCA 施行例の予後は良く非施行例は悪いことがあげられるが, PTCA 困難例もあり治療の限界がある.

2) 高齢者の急性心筋梗塞に対する direct PTCA の成績

末武 修史・小田 弘隆
笠井 英裕・田川 実
三井田 努・土田 圭一
高橋 和義・戸枝 哲郎 (新潟市民病院)
樋熊 紀雄 (循環器科)

【目的】高齢者 (75歳以上) の急性心筋梗塞 (AMI) に対する direct PTCA の有用性について検討した.

【対象と方法】対象は 1987 年から 1997 年に当院に入院し, direct PTCA を行なった AMI 267 例で, 75歳以上の36例を A 群, 75歳未満の 231 例を B 群とした. 性別, 有病変枝数, 標的病変, 冠危険因子 (高血圧, 糖尿病, 高脂血症, 高尿酸血症), 再灌流までの時間, Killip 分類, Forrester 分類, ステント使用 (bail out ステント), IABP 使用, 左室駆出率, Max CPK, 院内死亡, 再血管形成術, 遠隔期死亡について 2 群間で

比較検討した。【結果】A群で有意に女性が多く(16% vs 31%), 有病変枝数に差はなく, 標的病変で左回旋枝はB群のみであった(7%)。冠危険因子の高血圧, 糖尿病, 高尿酸血症に差を認めなかったが, コレステロールがA群で有意に低値であった(160 vs 184)。再灌流までの時間に差はなかった。Killip分類に差を認めなかったが, A群でForrester分類Ⅳの割合が有意に高かった(21 vs 6%)。A群でbail outステント使用が有意に多かったが(31 vs 16%), IABP使用に差はなかった。左室駆出率, Max CPKに差を認めなかった。院内死亡はA群で高い傾向を示し(19 vs 10% : p=0.075), その内訳は心不全4例, 心破裂1例, 脳梗塞1例であった。再血管形成術, 遠隔期死亡について2群に有意差は認めなかった。【結論】75歳以上のAMIでは, バルーン拡張後にbail outステントを必要とすることが多かった。血行動態不良の指標であるForrester分類Ⅳの割合が高いことより, これが院内死亡を高めた可能性がある。この不良血行動態の原因について今後の検討が必要である。

3) 超高齢者左主幹部(LMT)病変の治療戦略

山本 君男・大塚 英明
他田 正義・福永 博(新潟こばり病院)
宮北 靖・大島 満(循環器内科)

【症例1】80才女性。日中畑の草取りをする。高血圧症, 糖尿病, 陳旧性肺結核の既往。平成5年不安定狭心症にて右冠動脈(#1)および左回旋枝(#11)に対し, 当科にてPTCA施行。以後症状軽快していたが, 平成10年2月より数10m歩行(隣家に行く程度)で胸痛出現する様になり, 4月15日当科紹介受診。当日病院駐車場より玄関までの間に3回発作あり, 緊急入院となる。同日施行した冠動脈造影にて左主幹部中間部90%, 左前下行枝, 回旋枝, 右冠動脈のそれぞれ基始部に90%狭窄を認めた。

治療:ヘパリン, ニトログリセリン持続点滴施行。4月17日3枝バイパス施行。5月8日術後造影にて左前下行枝へのグラフト閉塞が認められ, 5月11日左主幹部および左前下行枝にステント留置を行う。5月23日軽快退院。

【症例2】84才男性。高血圧症, 喫煙歴あり。平成7年より散歩や階段を昇る際に胸部圧迫感出現, 安静にて軽快していた。痔出血, 貧血にて前医に入院中頻回に発作出現し, 心電図上I, II, III, aVL, aVF, V4-6

でST低下を認めた。ISDN持続点滴および輸血による貧血の改善(Hb5.1→11.0)により症状改善したが, 痔に対する手術検討のため, 4月22日当科入院となる。4月24日施行の冠動脈造影にて左主幹部近位部に実測50%, 回旋枝(#13)99%TIMI2, 左前下行枝(#6)90%の病変を認めた。

治療:4月28日6Fガイドカテーテルにて回旋枝および左前下行枝に対し, それぞれステント留置を行う。5月1日軽快退院。痔出血も硬化療法と外用薬にてコントロールされた。

4) 高齢者(75歳以上)に対する冠動脈バイパス術の手術成績

大関 一・諸 久永
鳥田 晃司・平原 浩幸
榛沢 和彦・中山 卓(新潟大学)
高橋 善樹・林 純一(第二外科)

1993年1月から1998年8月までに新潟大学第二外科で行われたCABG症例数は95例で, そのうち14例(15%)が75歳以上の高齢者であった。年齢は75才から86才,(平均78才)で, 性別は男8例, 女6例, 病変はLMT, 3枝病変例が70%を占めた。危険因子として高血圧, 糖尿病を半数が有し, 合併症として陳旧性心筋梗塞を57%に, 脳血管病変を29%に認めた。手術は緊急手術例はなく, 全例待機的に行った。平均バイパス本数は2.7枝で, 内胸動脈グラフトを86%に使用した。手術死亡は1例で(死亡率7%), 検索し得た12例の術後早期グラフト開存率は内胸動脈100%, 大伏在静脈91%であった。1例が3カ月後, 心不全, 肺炎で死亡したが, 他の11例では4カ月から68カ月,(平均21カ月の観察期間)で健在で, 心事故発生はなく, Kaplan-Meier法による累積生存率は1年86%, 3年86%と良好であった。

5) 高齢者大動脈弁狭窄症に対する手術成績と問題点

山本 和男・春谷 重孝
小熊 文昭・曾川 正和(立川綜合病院)
小鹿 雅隆・明石 興彦(心臓血管外科)

大動脈弁狭窄症は近年増加傾向で, 他の心臓弁膜症に比し, 高齢者に発症することが多い。当科における高齢者大動脈弁狭窄症の手術成績を調査し, 治療の妥当性を検討した。